

第6回嶺南地域流域検討会 における質問事項の回答

～ 佐分利川水系 ～

平成16年11月1日

主な意見・質問

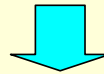
- 1 流量の減少について
- 2 堤防に関して
- 3 農水に関して
- 4 環境に関して
- 5 治水・利水計画に関して

(5については次回以降の検討会で回答)

意見質問1-1

30年前より水量が減少していると思う。流量変化等の資料を提示してほしい。
【加藤委員・細田会長】

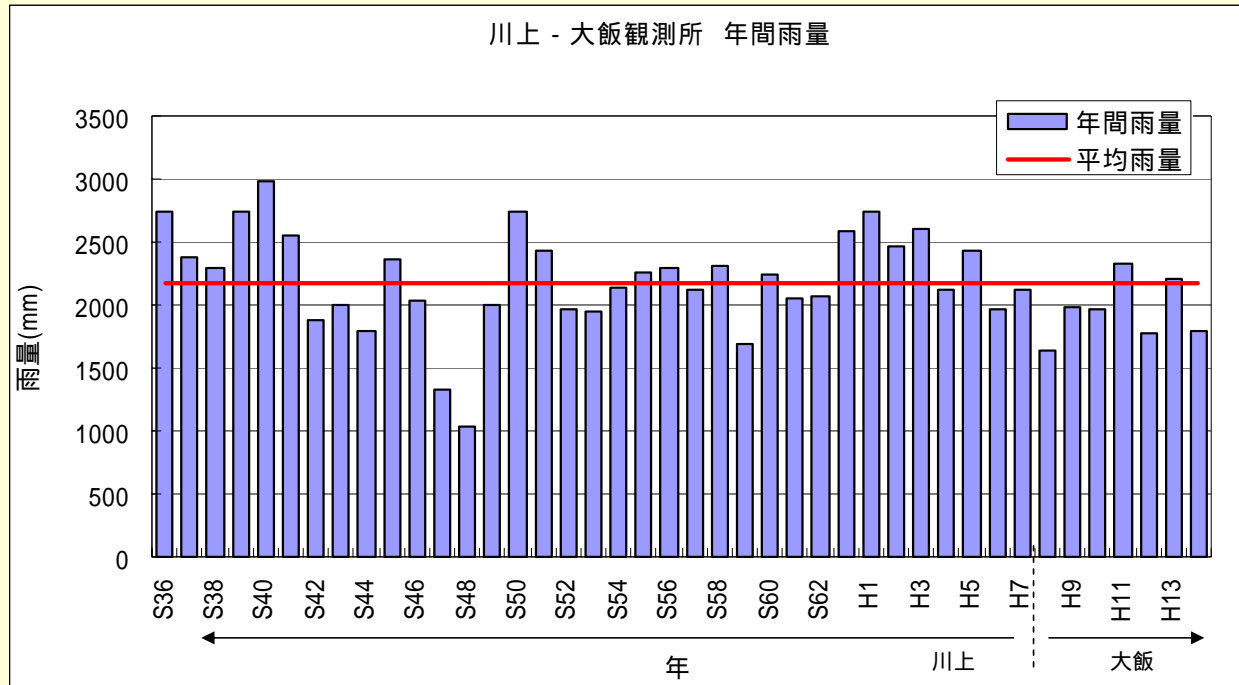
佐分利川周辺での雨量ならびに流量の観測データを確認しました。



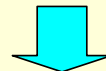
位置図

赤丸：雨量観測所
青丸：流量観測所

雨量の変化について

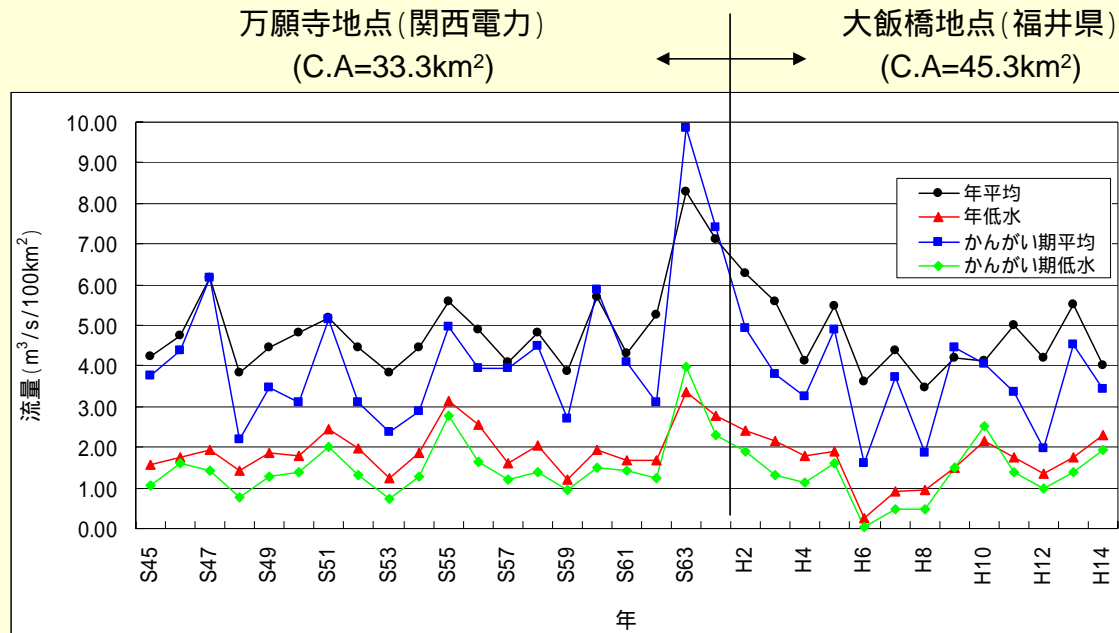


H8にアメダスが川上から大飯に移設。

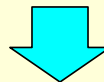


川上観測所(年間総雨量)は、渇水年等での変動はあるがほぼ横ばいに推移。

流量の変化について



流域面積100km²当りに換算した流量。



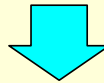
低水流量は渇水年を除き1.0 ~ 2.0m³/s/100km²程度で推移。

意見質問1-2

流量の減少は、林相との関係もあるのでは？

【多仁委員】

流量変化と林相変化については、確かなデータは少なく、現在、関係はないという研究者は多い。



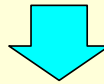
流量変化と森林構造の因果関係は
明らかになっていない。

意見質問1-3

草の種類による蒸散量の違いを検討しては？

【大竹委員】

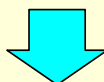
蒸発散量に関する知見が少ない。



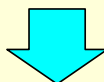
流量変化と蒸発散量の因果関係は
明らかになっていない。

流量が少なくなったと思われる要因

S28災害復旧により河川拡幅を実施



安定化した河床の水際線にヨシが繁茂

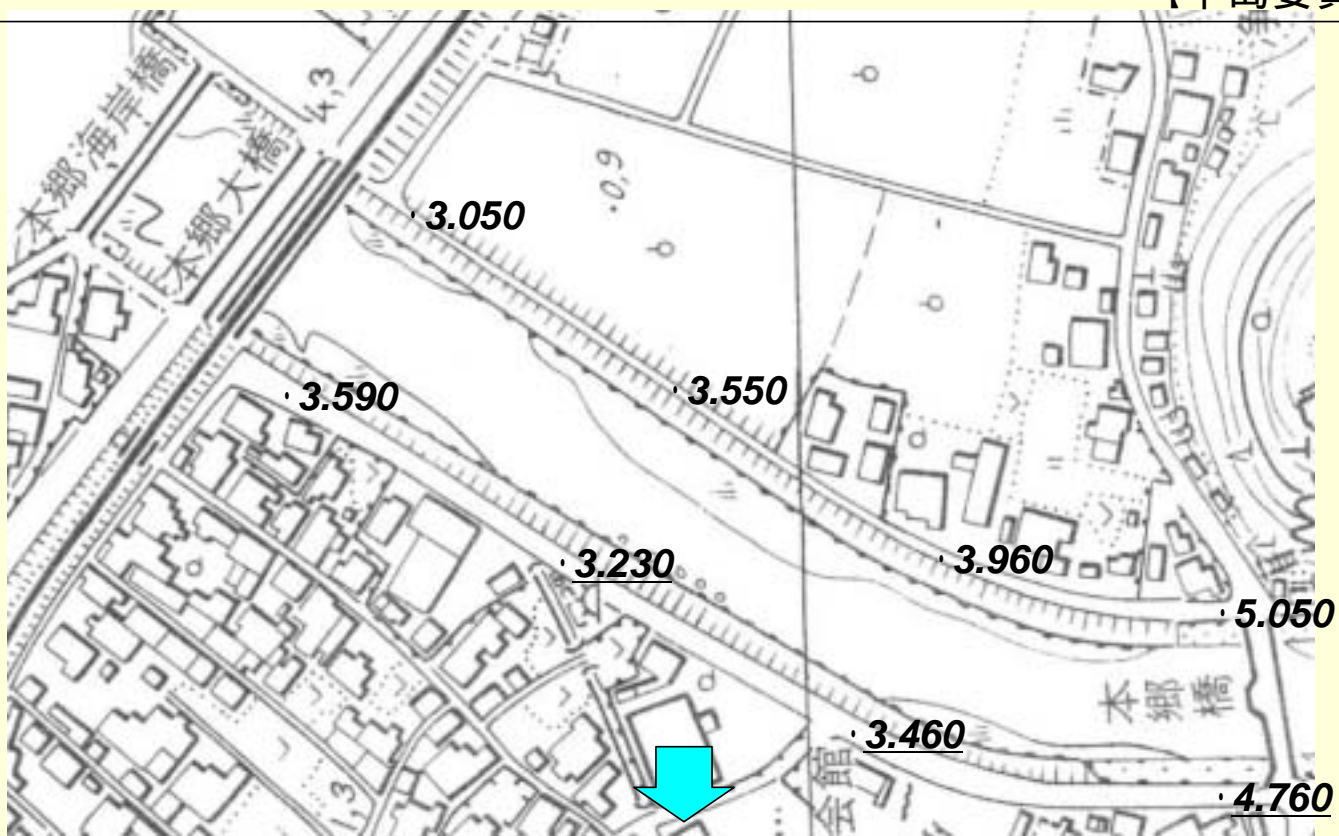


流量が少なく感じられる

意見質問2-1

佐分利川下流の堤防が右岸より左岸側が低いのはなぜか？

【中島委員】

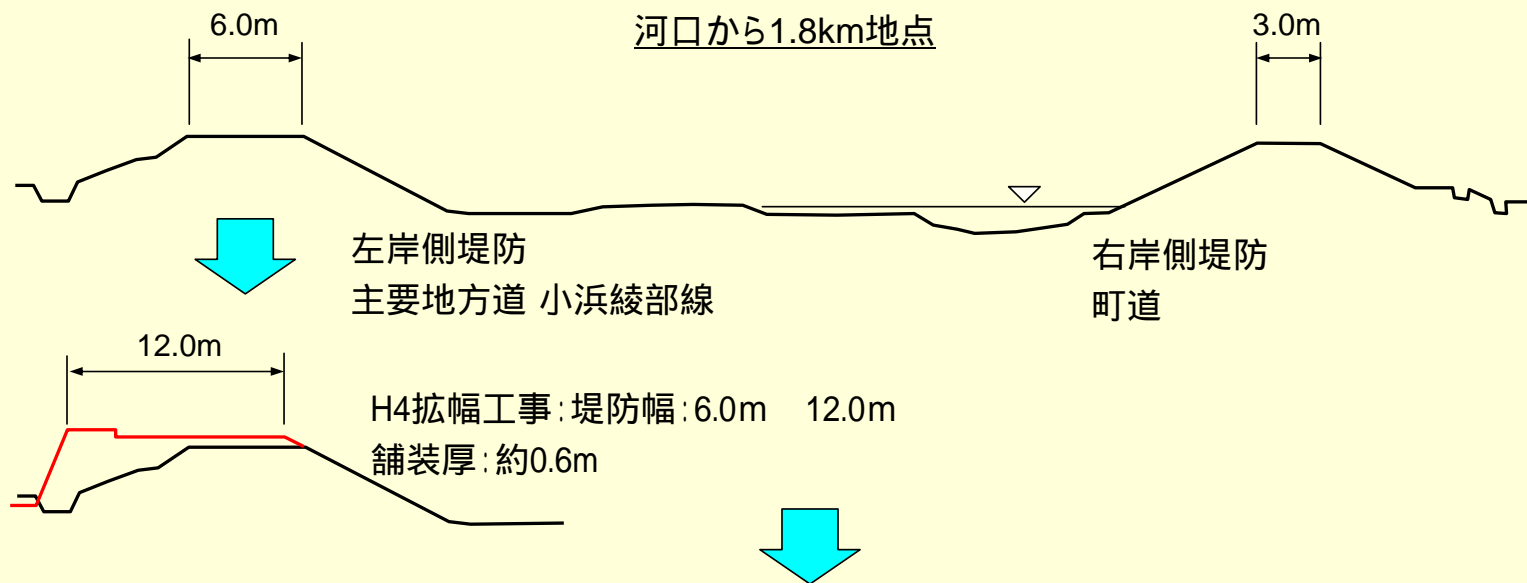


S28当時の断面がなく、原因不明。ヒアリングより当時から低い。

意見質問2-2

野尻橋～大飯橋～本郷橋では左岸側に比べ右岸側の堤防が貧弱に感じた。堤防断面の歴史的変化等の資料を提示してほしい。

【廣部委員】

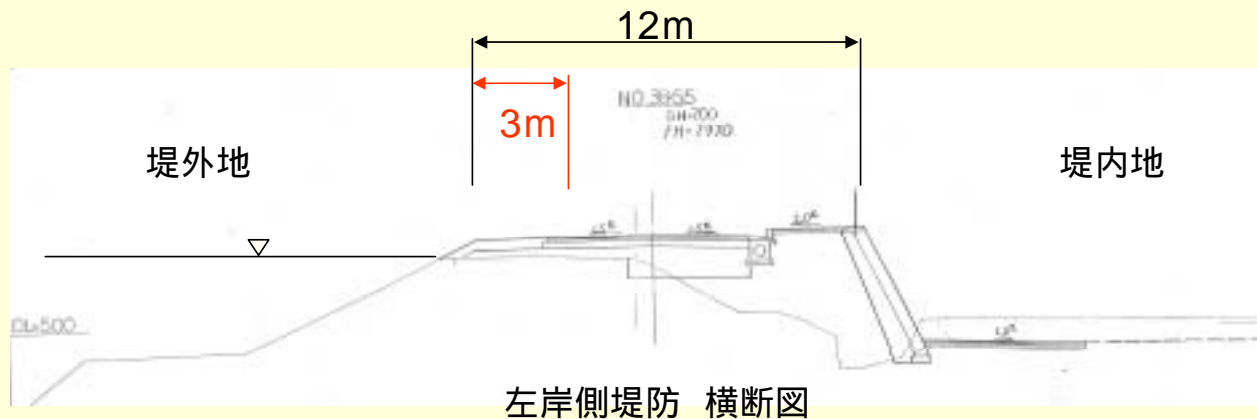


左岸側は以前より主要地方道との兼用護岸となっており、堤防天端幅が広い。また、H4にも既設堤防に腹付けして拡幅したため、堤防幅が広く、舗装厚の分だけ高くなっていますが、町道との兼用護岸となっている右岸側も所定の必要幅は有しています。

河口から1.8km地点

河川管理施設等構造令における天端幅

項	計画高水流量 (単位1秒間につき立法メートル)	天端幅 (単位 メートル)
1	500未満	3
2	500以上 2000未満	4



意見質問3-1

農業用水等の利水についても十分議論する必要がある。

【中島委員】

正常流量の検討は、農業用水の利用実態等を考慮して行います。基本方針は治水・利水・環境を総合的に勘案して策定します。

意見質問4-1

取水堰の魚道の方に水が流れていない箇所がある。また、魚道が上手く機能していない箇所もあるようですが、配慮すべきでは。

【大竹委員・加藤委員】



佐分利川(父子堰魚道)

水利用を尊重しながら、農業関係者と連携
今後も適宜改良を実施